

連携いいわい

平成 28 年 3 月
第 11 号
岩手県立磐井病院

平成 27 年度両磐地域運営協議会を終えて

事務局次長 田中 佳子

平成 28 年 1 月 22 日に「平成 27 年度両磐地域運営協議会」が当院の会議室で開催されました。

当協議会は、「県立病院運営協議会等要綱」に基づいて、「二次保健医療圏内の県立の病院の円滑な運営を図り、もって地域住民の医療及び保健衛生の向上に寄与するため」設置されたものです。

委員は、市町村、関係行政機関、社会保険団体、医療関係団体、社会福祉関係団体、学校、事業所、婦人団体、青年団体等の代表者及び学識経験者からなり、年に一度、磐井病院を会場として開催しております。

当日は、委員長の勝部一関市長に議長を務めていただき、磐井、南光、千厩、大東病院の病院長から各病院及び花泉地域診療センターの運営状況、現在の医師不足の状況、地域医療を取り巻く情勢などを委員の皆様に対して説明いたしました。

委員の皆様からの質問として、初めに南光病院への「退院促進への不安」と「市民後見人制度の問題」が出され、前項は個々のケースに応じた条件確認や相談体制での対応、また後見人については社協などでの日常生活を支える取り組みの紹介に加え、現在地域に明確な施策はないことから今後の継続問題として確認されました。

続いて「医師不足の原因・対策」には、県医療局から臨床研修医制度と診療科の2つの点で偏在があり、大学への派遣要請・医師招聘に加え奨学金養成医師の配置に取り組んでいることが説明され、「救急のコンビニ受診についての住民意識の問題」については、行政側からの情報発信の強化や看護師確保といった対策案が話されました。

意見としては、少子高齢化の進む中で「周産期医療と小児科の維持」について要望があげられ、質疑応答と併せ終了予定時間を超えて様々な意見交換がなされました。

当協議会の詳細な資料・会議録は、磐井病院ホームページや岩手県または県南広域振興局の行政情報サブセンターで閲覧でき、また直接会場での傍聴についても可能で、毎年開催の一ヶ月前にホームページ等でお知らせしております。

今後も運営協議会において、各委員の皆様と地域医療の現状について、また県立病院の現在の状況について情報を共有し、忌憚のないご意見を頂戴しながら、県立病院のよりよい運営に向けて努力を重ね、地域に貢献していきたいと考えております。



目次

- 平成 27 年度両磐地域運営協議会を終えて・・・P.1
- 部門紹介ーリハビリテーション科ー・・・P.2
- 平成 27 年度「連携 BOX」利用件数報告・・・P.3
- 紹介、逆紹介地連パスの件数・・・P.3
- 花泉地域診療センターの紹介・・・P.4

部門紹介 ーリハビリテーション科ー

リハビリテーション科 技師長 山谷 一善

リハビリテーション医療は病気やケガでいろいろな障害を持った人々に対して、その障害を可能な限り回復させ、残された能力を最大限に高めて、身体的・精神的・社会的に生きがいのある生活を送れるように援助します。

当部門は、理学療法士4名、作業療法士2名、言語聴覚士2名と決して大きな組織ではありませんが急性期を中心に365日体制を目標に取り組んでいます。

昨今、リハビリテーションという言葉は殆どの方が聞いたこと、理解していることと思いますが、理学療法士と作業療法士の違いを理解している人はほとんどいないと思います。

(残念ながら・・・)理学療法士は、事故や病気による障害のために、日常生活動作が難しくなった人に対し、「運動を中心に」その動作能力の回復や残った運動機能を最大限に発揮するための治療・指導を行います。作業療法士は身体機能訓練やブロック細工・書字・ぬり絵等の手作業、着替え・整容・食事・排泄等の日常生活動作といった「作業活動」を通して日常生活を送れるように援助を行います。

言語聴覚士は、言葉によるコミュニケーション、注意・記憶等高次脳機能、食べること・飲み込むことに関する治療を行います。

当部門は、患者様・ご家族が安心・納得し、積極的にリハビリテーションに取り組めるよう、丁寧な問診・説明を心がけています。体調・意欲に配慮し、患者様の気持ちに寄り添いながら訓練を進め、機能回復・生活再建を目指します。家族指導や日常生活に関するアドバイスも積極的に行いたいと思いますが万が一、スタッフに不備、不満、質問がありましたら、遠慮なく、ご意見いただきたいと思っています。



最後に当院では、医療従事者ごとに白衣の色が違います。リハビリテーション科は緑のラインが入った上着を着ています。看護師は白衣(青も)の天使ですが、リハビリテーション科は緑の戦士、患者様の障害に立ち向かいます。どうか、お見知り置きを。

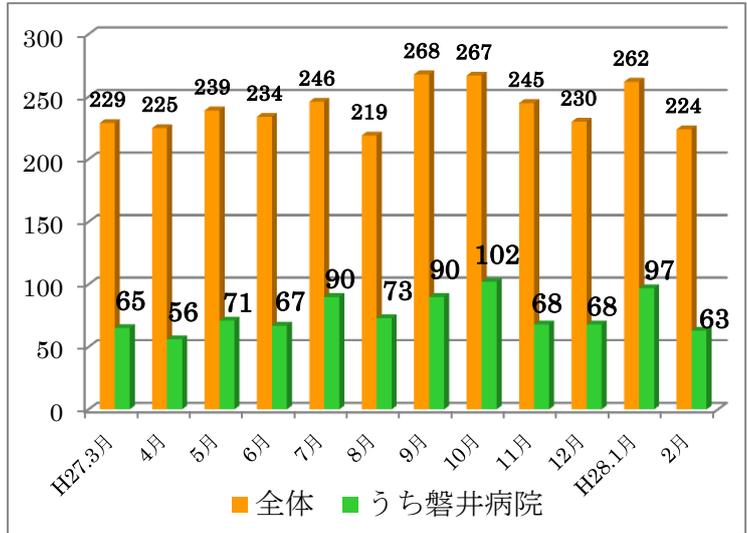
平成 27 年度「連携ボックス」利用件数報告

両磐広域を中心に医療画像データの送受信を行う「連携ボックス（一関医療連携ネットワークシステム）」について、今年度2月末までの年間利用実績についてご報告します。

直近1年間の月別件数をグラフにまとめました。

参加医療機関は現在 30 施設（10 病院 20 診療所）で、月ごとの変動はあるものの毎月 220～270 件程度の利用があり、うち 1/3～1/4 程度が磐井病院との連携で使用されている状況です。

また、以前より追加機能として準備しておりました予約システムが追加されましたので、磐井病院での外来栄養指導についての予約取得が可能となります。毎週火・木曜日に限定した予約となりますが、他院からの依頼に基づき当院で管理栄養士が指導し、報告書は連携ボックスでデータ送信または郵送にてお送りいたします。



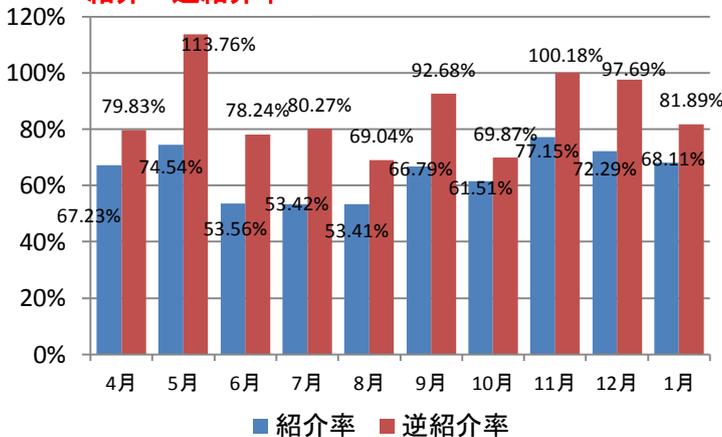
紹介・逆紹介率と地域連携パスの件数

（平成 27 年 4 月～平成 28 年 1 月）

当院は、地域医療支援病院として各医療機関との間で適切な役割分担と連携が求められており、紹介率・逆紹介率、そして、地域連携パスの運用は、その連携状況を測る指標となっています。

紹介率は、平成 28 年度 1 月累計で、63.64%と昨年度 61.8%から若干の伸びを見せており、地域連携パスでは同 2 月累計で、「大腿骨頸部骨折」が大幅増、「脳卒中パス」が微増となっています。今後とも、連携協力をよろしくお願いたします。

紹介・逆紹介率



地域連携パスの件数

年度（期間）	H26	H27.04 ～ H28.02
地域連携パス		
大腿骨頸部骨折	19	57
脳卒中	20	23
胃がん	3	1
大腸がん	6	3

岩手県立磐井病院附属

花泉地域診療センターのご紹介

—花泉地域診療センター事務局—

当センターは、前身の花泉病院が平成 21 年度末に閉院後、平成 24 年 4 月から新たに磐井病院の附属診療センターとして再開されました。現在は、建物の 1 階部分をセンターの運営に使用し、2 階部分は特別養護老人ホームに提供しています。

診療科目は内科及び外科で、常勤医師 2 名と看護師 3 名の体制で診療にあたっています。加えて外科には磐井病院等からの診療応援もいただいています。

内科は主に糖尿病・高血圧等の生活習慣病の方、外科は一般外科を中心に褥瘡・骨粗鬆症の患者も診察しており、そのほか特殊外来として「頭痛外来・物忘れ外来」を毎週火・木・金曜日に、「禁煙外来」を毎月第 2・4 水曜日に行っています。また少数ながら、寝たきりの方への訪問診療や、褥瘡処置のための往診も行っております。

今後も地域の医療機関、老健施設等との連携を強めながら、地域を支える医療に貢献していきますので、どうぞよろしく願いいたします。



診療時間		月	火	水	木	金
内科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	-	○
外科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○	-	○	○
頭痛・物忘れ外来	午前	-	-	-	○	-
	午後	-	○	-	-	○
禁煙外来	午前	-	-	○	-	-

●受付時間・・・午前 8:30～11:00
午後 1:30～4:00

●休診・・・土、日、祝日、年末年始

●診療時間・・・都合により変更になることがあります。電話で確認してからお出かけください。

●再来・・・原則予約制です。(電話で予約可)

●問い合わせ・・・TEL 0191-82-1231



岩手県立磐井病院

【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室

病院ホームページ：<http://www.iwai-hp.com>

公式 Facebook：<http://www.facebook.com/iwaihp>

【連絡先】

〒029-0131 岩手県一関市狐禅寺字大平 17

電話 (0191)-25-3452 Fax (0191)-23-9691

連携室直通 Fax(0191)-21-3990